



IMAGINE
ROTARY

WEEKLY BULLETIN

四つのテスト

- I. 真実かどうか
- II. みんなに公平か
- III. 好意と友情を深めるか
- IV. みんなのためになるかどうか

- 会 長 / 依田 邦彦
□ 副会長 / 西野 元・溝口 明範・井尻 英雅
□ 幹 事 / 川田 英史 □ 副幹事 / 安藤 寿弥

例会日：毎週月曜日 18:00～19:00

例会場：静岡グランドホテル中島屋

事務所：静岡市葵区追手町2-12 5F / TEL 054-254-5611

2022-2023年度RI会長 ジェニファー・E・ジョーンズ「イマジン ロータリー」

令和4年11月14日(月)

No.1433
第1539回 例会

ホームページ
アクセス数

2022.11.16
52311

ゲ
ス
ト

国際ロータリー第2620地区
ロータリー財団委員会委員長
浜松ハーモニーRC
卓話者 安間 みち子 様

静岡市国際交流協会
静岡西RC
加藤 博一 様

♪ 本日のロータリーソング「奉仕の理想」 ● ソングリーダー：長嶋 明彦 会員

依田 邦彦 会長の時間



今月の5日6日、私たちのクラブが所属します国際ロータリー第2620地区の地区大会が、この静岡の地で開催されました。当クラブからも役員、また新会員の計13名が参加致しましたが、久しぶりのフルスペックでの地区大会となり、参加者も多く、盛況な大会となりました。私が幹事を務めた2年前はコロナ禍ということで、簡素化された大会でしたので、地区大会での全ての行事に参加するのは初めてでしたので、私自身会長を務めていても知らなかったロータリーの流れを知ること出来ましたし、今回の地区大会に初めて参加した新会員の皆さんも、ロータリーが行なっていることを色々と知ることができたのではないかと思います。

来年は本日お越しの安間パストガバナーのお膝元である、浜松での地区大会の開催となりますので、また距離的にも参加しやすい大会となります。

最近入会された中で、まだ地区大会に参加していないメンバーも多くいらっしゃいますので、ぜひ来年度の地区大会はそういったメンバー含め、多くのメンバーが参加していただけることを希望いたします。

本日の例会は、当地区2019・20年度のガバナーを務められた、安間みち子様による卓話となります。ガバナー経験者をお招きするという事で、自分も大変緊張しております。安間様の卓話で色々とお話をいただくために、短いですが会長の挨拶はこの辺で終了とさせていただきます。それでは本日もよろしくお願いいたします。

■ 幹事報告 川田 英史 幹事

- ・ 11/21 委員会
- ・ 11/27 わいわいワールドフェア(青葉公園10:30-15:30)
- ・ 11/28 休例会
- ・ 12/5 年次総会
- ・ 12/12 委員会
- ・ 12/17 クリスマス家族例会
- ・ 12/26 休例会
- ・ 11月の誕生日/望月威男会員、安藤会員、山口会員、大杉会員、佐野会員
- ・ 11月の結婚記念日/望月威男会員、宮本会員、佐野会員、森川会員
- ・ 静岡わいわいワールドフェアについて(静岡西RC/加藤博一様) 多くの外国人の方がいらっしゃいますので、皆様もポリオの募金だけではなく、機会があれば声を掛けてください。

■ スマイル報告 岡崎 秀威 会員

■ 会員からのスマイル 総額/58,000円

- 依田会員、西野会員、川田会員、安藤会員、針谷会員、柳瀬会員、長嶋会員、加藤会員、川島会員、稲垣会員、三浦会員、増田会員、岡崎会員、小林会員、花森会員、米澤会員、山田会員、小澤会員、赤堀会員、原川会員
- 本日は、地区ロータリー財団委員会委員長の安間みち子様をお迎えして。
- 望月威男会員..... 11月3日、日本国天皇陛下より旭日双光章を授与されました。皆様よりお祝いを頂き、本当に有難うございました。11月6日は、私の80回目の誕生日に当たります。当日は結婚記念日にもあたり、57年になります。クラブよりお祝いを頂きまして、感謝致します。
- 望月徹会員..... 先日の母の通夜、並びに葬儀の際は、ご列席ありがとうございました。

静岡中央ロータリークラブ週報

クラブ会報委員会

～ ロータリー財団について ～



2019年に公式訪問させて頂いて以来3年振りの訪問となります。本当に若いメンバーが多いということと、皆さんネクタイをされていて、しっかりとした例会をされていると感じました。また、スマイルの多さに驚き、素晴らしいクラブだと思いました。

本年度のテーマは「ImagineRotary」ですが、毎年会長が変わると、テーマも変わります。男性はネクタイ、女性はスカーフも変わっていきます。18日にはジェニファー・ジョーンズ会長が静岡(浮月楼)にやってきます。

国際ロータリーができたのは、1905年2月23日です。ポール・ハリスが4人のメンバーで、第一回目の例会をシカゴで開きました。最初はクラブだけで奉仕活動を行ってましたが、それだけでは大きな奉仕はできないということで、ロータリー財団ができました。国際ロータリーのロータリー財団となり、合言葉は「世界で良いことをしよう」です。30年後にポール・ハリスは亡くなりますが、「追悼は献花ではなく、財団への寄付にしてください。」という遺言を残しました。電報で世界中のクラブに伝え、相当な額の寄付が集まったと聞いています。

ロータリー財団は世界で色々なことをしています。その中で最優先事項の活動として、「ポリオの根絶」があります。1987年に取り組みを始めたとき、世界に35万人のポリオ患者がおりました。2022年9月末の状況で、パキスタンに19人、アフガニスタンに3人の合計22人です。「あと少し」を合言葉として頑張ってます。ポリオが根絶すると、世界で「天然痘」に続き、人類が克服した感染症として2例目になります。

2013年からは「未来の夢計画」として新しいシステムを作り、私達は補助金システムを使っています。皆様には年次目標として一人150ドル、また、ポリオプラス基金として、年一人30ドルの寄付をお願いしています。100ドルが寄付されると、47.5ドルが世界の良いことに使われ、47.5ドルが地区に戻ってきます。地区補助金として、地区やクラブが計画した奉仕活動に支援しています。51名以上のクラブは30万円まで戻ってきます。ぜひ来年3月に地区補助金のセミナーに出席して、申請をして使ってください。

また、国際ロータリーは7つの重点分野にできるだけ奉仕活動をしましようと言っております。「疾病の予防と治療、水と衛生、教育と識字率の向上、地域社会の経済発展、母子の健康、平和構築と紛争予防、環境の保護」

財団とは別で「米山記念奨学会」があります。米山梅吉氏は日本のロータリークラブを作った方で、東京ロータリークラブの初代会長です。2020年に東京ロータリークラブは100周年を迎えました。1946年に彼が亡くなった時、米山の名前を残すべく奨学生を支援するための奨学委員会ができました。日本の奨学金制度で一番大きいものが国費の奨学金です。それについて大きな額を米山が、大学院生に対して毎月15万円、大学生に10万円を補助しています。また、他の奨学金制度と違うところは、ロータリーにはカウンセラー制度があります。毎年全国に約900名の米山奨学生がおり、2620地区には25名来ております。米山を卒業して、ガバナーになった方もいらっしゃいます。米山でお世話になった方々の「米山学友会」があり、すごく良い制度だと思います。

委員会報告

- ・クリスマス家族例会について(岡崎委員長)
本日、12月17日の出欠席最終日となります。
- ・母の葬儀について(望月徹会員)
先日は母の通夜、並び葬儀にご参列いただきまして誠に有難うございました。皆様にお助けいただきながら、102歳まで生きることができました。

出席報告

藤田 能央 委員

11月14日(月)	出席者数	出席率
広報常任委員会	4名	44.4%
奉仕プロジェクト常任委員会	5名	45.5%
クラブ管理運営常任委員会	10名	76.9%
会員増強・財団米山常任委員会	13名	76.5%
総出席者数	37名※	※会長・副会長・ 幹事・副幹事含む

・総会員数54名(出席義務会員48名+出席免除会員6名)